月刊 あなたにこの本を！ 平成 23 年 2 月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。

…字が大きめ　…中高生にも　…図・写真が多い

※価格のあとの（ ）内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。

助けてと言えない ―いま 30 代に何が―

NHK クローズアップ現代取材班　編著　**ジャンル ： 現代社会を見つめる**
文藝春秋　1260 円　(0012176320)

2009 年4月に、北九州市で 39 歳の男性が孤独死した。この痛ましい出来事をきっかけに、NHKの記者たちが、昨今の不況で失業したり、ホームレスになるなど、様々な苦境に陥った 30 代の人々を取材。彼らが抱える深い心の闇に迫った。どんなにつらくても、自分からは家族や友人に援助を求めず、徐々に社会から孤立していく人々の生い立ちや心情が明らかになり、胸が締めつけられる。テレビで放映され、大きな反響を呼んだ番組が書籍化された。〔368〕

コーヒーを通して見たフェアトレード ―スリランカ山岳地帯を行く―

清田和之　著　**ジャンル ： 生き方・考え方に学ぶ**
書肆侃侃房　1575 円　(0012177052)

フェアトレードとは公平な価格で貿易を行い、社会的に弱い立場にある発展途上国の人々の自立を支援する運動だ。本書ではスリランカコーヒーに魅せられ、コーヒー豆のフェアトレードを行う著者が、自らの道のりを語る。幻のコーヒーの復活をめざし、社会の役に立つことがしたいと、現地の人々の貧困改善のためにフェアトレードに取り組む著者の姿に感銘を受ける。コーヒー生産の歴史、スリランカの農業や人々のくらしなども紹介され興味深い。〔617〕

品川に 100 人のおばちゃん見～っけ！ ―みんなで子育てまちづくり―

丹羽洋子　著　**ジャンル ： 子どもの成長のために**
ひとなる書房　1575 円　(0011746845)

東京都品川区には、行政に委託されて子どもを預かったり、子育てグループを支援する「おばちゃん」がいる。仲間とNPO法人を立ち上げた児童館の元館長、子どもを預かりあう母親たちなど、地域に密着して活動する人たちの姿を、育児ジャーナリストである著者が紹介する。子育てを通じて人々がつながっていく様子がほほえましい。たくさんの「おばちゃん」たちとともに、みんなで子育てを楽しむ街づくりの様子からは、希望が感じられ心が温まる。〔369.4〕

百歳日記

まど・みちお 著
日本放送出版協会 777 円 (0012182002)

ジャンル ： 生き方・考え方に学ぶ

詩人である著者が、代表作の 17 編の詩とともに、100 歳になって日々感じた事を語る。著者は、小さいノートを日記帳にして、絵を書いたり、思いついたことをメモしているという。本書に収録された日記からは、童謡「ぞうさん」で知られるような、明るくユニークな作風どおりの人柄が伝わる。100 歳を超えた今なお「年をとったからこそ新しい世界が開けるかもしれない」と、意欲的に創作活動に取り組む姿は、読者に前向きに生きる勇気を与えてくれる。〔E マト〕

マスコミは何を伝えないか ーメディア社会の賢い生き方ー

下村健一 著
岩波書店 1995円 (0012155485)

ジャンル ： 現代社会を見つめる

本書では、取材相手を傷つける報道被害について、その原因と解決策、情報の受け手側に必要なことは何かを丁寧に解説する。自らも取材するキャスターとして活躍し、学生や市民からの情報発信の支援にも努める著者の言葉は、理論と現場を踏まえて力強い。各章ごとに収められる当事者との対談も生の声を伝えている。「出来事の一部しか報じない」というマスコミの性質について気づかせ、現代の情報社会をよりよく生きるためのテキストとして優れている。〔070.1〕

武士の町大坂 ー「天下の台所」の侍たちー

薮田 貫 著
中央公論新社 819 円 (0012173511)

ジャンル ： 大阪にゆかりの本

江戸時代の大坂は、町人の都と言われるが、いったい武士は何人ほどいたのだろうか。著者は、「大坂図屏風」『大坂武鑑』といった資料をもとに、武士の数、仕事、暮らしぶりなどを読み解く。大坂城での城詰めの様子や、祭事には禁足令が出ていたため、絵画に描かれていないのではないかなど、著者独自の視点からの考察が目新しい。今まで知られていなかった大坂の武士たちの姿が浮き彫りとなり、従来の歴史観とは違った一面を垣間見ることができる。〔216.3〕

賽銭(さいせん)の民俗誌

斎藤たま 著
論創社 2415 円 (0012155559)

ジャンル ： 歴史・文化に親しむ

本書では、民俗研究家である著者が全国各地を訪ね、聞き取ってきた話の中から、銭・米・石などが魔よけの習俗に使われてきた例を紹介する。古来、銭には貨幣としての役目だけでなく、魔よけのお守りとしての役目もあった。その点に賽銭の原型が見いだせると著者は考える。魔よけの習俗には、子どもの健やかな成長を願い、死者の不吉を祓(はら)いたいという願いが込められている。古老たちの素朴な語り口によって、そうした願いが心に深く伝わってくる。〔387〕

戦後日本漢字史

阿辻哲次 著
新潮社 1260円 (0012191155)

ジャンル ： 知識・教養を深める

2010年、29年ぶりに常用漢字表が改定され、社会で一般的に使用する漢字が増えた。日本語入力ソフトの普及により、書く文字からキーボードで入力する文字へと変化したことが背景にある。本書では、国語のローマ字表記の提案や、当用漢字表の作成など、戦後から現在に至るまでの漢字使用の変遷をたどる。現在、当然のように使用されている漢字かな交じり文だが、時代により国語の表記も変化し続けていることに改めて気づかされる。〔811.2〕